

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市国民健康保険運営協議会				
事務局 (担当課)		国民健康保険課 電話042-704-8909(直通)				
開催日時		平成30年1月18日(木) 15時30分～16時52分				
開催場所		ウェルネスさがみはらB館 2階 集団検診室				
出席者	委員	10人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	7人(保険高齢部長、他6人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	4人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開 会 2 議 題 (1) 諮問事項 国民健康保険税率の改正について (2) 報告事項 第2期データヘルス計画(素案)の概要について 3 その他 地方税法施行令の改正(平成30年3月公布予定)について 4 閉 会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

会議に先立ち、市長の代理として保険高齢部長から国民健康保険運営協議会会長へ諮問書が手渡された。

1 開 会

国民健康保険運営協議会会長より、定刻において出席委員数 10 名により、定足数である過半数を充足し、本会議が成立する旨報告がなされた。

また、傍聴希望者が 4 名いることが報告され、協議の結果、傍聴を認めることとなった。

2 議 題

(1) 諮問事項 国民健康保険税率の改正について

事務局より資料 1 に基づき、国民健康保険税率の改正の考え方及び税率について説明を行った。

併せて、資料 3 により平成 30 年 3 月公布予定の国民健康保険税の課税限度額の見直し及び低所得者に係る国民健康保険税の軽減判定所得の見直しについて説明を行った。

【質疑・意見等】

今回の税率(案)だと決算補填等を目的とした法定外繰入の全ての解消にはならないと思うがいかがか。

今回の 5 パーセントの改正では、市国保財政健全化方針に基づき平成 30 年度の決算補填等を目的とした法定外繰入は 24 億円とし、前年度と比べ 6 億円の減少を見込んでいる。

他市の状況はどうか。

神奈川県から 1 月 5 日に納付金の額と標準保険料率が示されたところで、情報がまだ入っていない。

前回の審議会で、市は県内の市町村と比較して一人当たりの保険税が低いという説明があったが、5 パーセント上げるとどうなるか。

平成 28 年度決算における本市の一人当たりの調定額は 94,748 円、県内で 24 位、県平均 100,731 円よりも約 6,000 円低い状況であった。

今回の税率(案)では、一人当たりの調定額は約 4,700 円の引上げとなり、99,136 円になるが、平成 28 年度の県平均よりもまだ低いとい

う状況である。本市は平成29年度に税率改正を行っていない。平成29年度に税率改正を行っている市もあるので、依然として県平均を下回る水準になるものと想定している。

神奈川県から納付金の額と標準保険料率が示されたとのことだが、県内各市町村の標準保険料率などはどのような状況となっているのか。

平成30年度において、神奈川県が各市町村から納付金として集める総額は、県全体で約2,627億円とされており、被保険者一人当たりには換算すると約13万5,300円となっている。

一方、本市の納付金は約218億7,000万円で、一人当たりには換算すると約12万9,900円となるが、県平均と比較すると5,400円低い状況である。これは所得水準や医療費水準が低いことが主な要因である。

本日、神奈川県が各市町村の標準保険料率を公表したが、率だけのため、市町村での比較が難しい状況である。

仮に夫婦、子1人で所得200万円というモデルケースで県が示す保険料率に当て込んでみると、県内で9番目位の水準である。このモデルケースでは、県内で1番高い自治体と1番低い自治体で保険税(料)に約10万円の差がある。これはあくまでも県が示した税率で算出した理論上の数値である。

税率のアップはやむを得ない。しかし、収納率を見ると県平均より大分低い。未収金額はどのくらいの額になるのか。

平成30年度予算で考えると、現年度分の税収は約150から160億円を見込んでおり、仮に収納率を90%とすると約15から16億円位が収入未済額となる。

市国保財政健全化方針の答申をいただいた際、税負担の公平性の観点から収納率の向上に努めるよう附帯意見もいただいております引き続き収納率向上に取り組んでまいりたい。

レセプト点検の結果により、行政が払う保険給付費は減額されることもあるが、その際、患者が支払った一部負担金は、医療機関によっては戻ってこないことがある。一部負担金の返戻について、国にしっかり指導するよう市で検討してほしい。

この件については、平成28年度に政令指定都市の国民健康保険事業を所掌する部課長を構成員とした会議において、本市提案の新規要望事項として議題としており、その後、医療機関に対し被保険者に返還すべきものがあれば、返還するよう指導してほしい旨、幹事市である北九州市ほか3市が代表で、その他の要望とともに厚生労働省国民健康保険課長に対し要望書を提出した経緯がある。その結果、国としては意見として承るという回答であった

と報告を受けている。

市では、今後、ご自身でお持ちの領収書とのチェックが行えるよう、医療費通知に医療費の自己負担額を掲載することなどを考えている。

他の健康保険組合とともに取組んでもいいのではないか。

国保だけの問題ではなく、他の健康保険組合についても同様のことが起きていると思われる。

県全体の保険者が集まる保険者協議会という会議があり、一保険者だけではできないことを全体的に行うので、保険者協議会の委員として伝えていきたい。

医療機関においては、患者の状態や要望などから多めに処方する場合もあるということも知っておいてほしい。

それは分かっている。私のケースは領収書が間違っていたということ。

諮問について、市への答申の作成は会長に一任された。

(2) 報告事項 第2期データヘルス計画(素案)の概要について

事務局より資料2に基づき、計画の概要及び本市の取組み状況等について説明を行った。

【質疑・意見等】

私は医師だが、患者から特定健康診査について、いつ受診券が配られているのかわからないという話をよく伺う。4月1日に一斉に送付しているということをよく周知したほうがいい。また、受診勧奨通知を送ると、あわてて受診に来るということもあるので、受診勧奨は効果があると感じている。

なお、相模原市の保健指導は良くやっており、すごく好評である。引き続き取組んでほしい。

もう一点、医療費が非常に高く突出しているものの中に、腎不全というものがあり、国においても平成30年度診療報酬改定の基本方針で生活習慣病の重症化予防の取組みの推進が掲げられ、資料にも糖尿病性腎症重症化予防事業等の実施とあり、相模原市でも患者1人あたり年間500万円も医療費が掛かってしまうという話があった。医師としてもこれに取組んでいくのでよろしく願いしたい。それから患者の薬の飲み忘れが結構あるが、その残薬が医療費を増大する一因となるので、残薬が出たときには、薬局や医師に薬が余っているので少なめでいいと伝えてもらえると医療費の抑制に繋がると思う。

人工透析の状況について、平成28年度で申し上げると、本市の国保被保

険者のうち約800人の方が受けている。患者1人あたり年間約500万円の医療費が掛かるので、それだけで約40億円になっている。いかに重症化にしないようにするかが、結果的に国保財政のためにもなるし、患者も人工透析が必要になってしまうと、仕事の関係やご家族の負担等もあるので、とにかく特定健康診査を受診してもらうことにより、生活習慣病のリスクがあると判断される方を対象とした特定保健指導の件数を増やしていくということが重要であると考えている。

歯科健康診査の受診率が低いという状況にあるので、歯科医師会でも市の30代の健康診査以外にも健康診査をやっている。糖尿病の重症化と歯周病というのはリンクしているというのは学会でも出ているので、それも併せて啓発していきたい。歯科健康診査も受診すれば医療費が少し下がると思っている。

特定健康診査の受診率を先ほど26.3%と申し上げたが、人数で申し上げますと、対象となる人数が約12万人おり、そのうち未受診者が9万人である。その9万人のうち既に治療されている方が約54,000人で、残りの36,000人は状況が分からない方々である。こうした方々を特定健康診査の受診につなげるのが一番の課題だと考えている。

3 その他

地方税法施行令の改正（平成30年3月公布予定）について事務局より議題（1）のときに、説明を行った。

その他、委員からの質疑、意見はなし

最後に議事録の作成については、会長及び副会長に一任された。

以 上

国民健康保険運営協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	古岩井 熱子		公募委員	出席
2	佐藤 昭子		公募委員	出席
3	白井 ひろみ		公募委員	出席
4	永田 晃		公募委員	出席
5	木内 哲也	一般社団法人相模原市医師会	保険医等代表	欠席
6	陳 勁一	一般社団法人相模原市医師会	保険医等代表	出席
7	野村 篤	公益社団法人 相模原市歯科医師会	保険医等代表	出席
8	大岡 元	公益社団法人相模原市薬剤師会	保険医等代表	欠席
9	会長 工藤 加鶴美	相模原商工会議所	公益代表	出席
10	中牟田 好江	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら	公益代表	出席
11	中山 光明	相模原市自治会連合会	公益代表	出席
12	副会長 原 裕子	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会	公益代表	出席